

毎月11日掲載

第65回ワークショップ @仙台・岩切

むすび塾

負担と責任 男女協働で



女性と防災、防災をテーマに話し合った「むすび塾」。

【女性と防災】女性たちは地域の要望にこたえて、防災活動が盛んな背景には岩切地区の土壌もある。PTAや町内会でも助かっている。震災時の避難所運営には課題があり、女性視点から見て、避難所運営に女性ならではの視点を加えてほしい。震災を振り返り、地域の防災・減災に生かしていきたい。岩切地区町内会連合会会長・吉川時夫さん(82)

【女性と防災】女性の防災活動が盛んな背景には岩切地区の土壌もある。PTAや町内会でも助かっている。震災時の避難所運営には課題があり、女性視点から見て、避難所運営に女性ならではの視点を加えてほしい。震災を振り返り、地域の防災・減災に生かしていきたい。岩切地区町内会連合会会長・吉川時夫さん(82)

【参加して】避難所のレイアウトなど女性の視点が重要なことも多い。ただ、女性だからと担当を決めず、共有するのが理想だ。立派なマニュアルがあっても「ムスビ塾」がきっかけで、防災への関心が低い人や若い世代に自分たちの活動を発信していきたい。岩切地区民生委員児童委員協議会主任児童委員・育村みどりさん(54)

【災害に備えて】震災の記憶がない子どもが増えている中、次世代に伝えるのは私たちの使命だ。地元で起きた災害を伝え、住民のつながりを保つて風化を防ぐことが大事。防災への関心が低い人や若い世代に自分たちの活動を発信していきたい。岩切地区民生委員児童委員協議会主任児童委員・育村みどりさん(54)

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

イコールネットと初共催

河北新報社は3月15日、NPO法人イコールネット仙台(仙台市)との共催で、「女性と防災」をテーマにした防災・減災ワークショップ「むすび塾」を仙台市宮城野区岩切で開いた。通算65回目。女性たちが東日本大震災で直面した問題や避難民の受け入れに積極的に動いた経緯を振り返り、地域防災に女性の力が欠かせないとの認識を新たにした。

大切で、女性の参画をもっと進めることが重要だ」と強調した。

イコールネットの宗片恵美子代表理事は「横につながりながら速やかに行動できるのが女性の強み。女性だけの活動として閉じ込めず、男性と対等なパートナーシップで取り組んでほしい」と述べ、男女協働の防災活動にエールを送った。

河北新報社は震災の教訓を基に「地域防災の推進には女性の視点が不可欠」との考えから、「むすび塾」の共催をイコールネットに提案。岩切開催が初となった。今後も定期的に共催する。

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。



【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

「近助」で危機対応

仙台市宮城野区岩切地区の女性たちは、2010年と15年の2度にわたって「岩切・女性たちの防災宣言」を策定した。「安心して暮らせるまちづくり」に女性の視点は不可欠と、子どもを抱えた母親の助け合いや備蓄の大切さを謳った。

15年の宣言は宮城県沖地震の恐怖や不安、家族と再会できた安堵の思いを振り返り、自助、共助とともに周りの人と助け合う「近助」が重要と指摘。「どんなに

文章で呼び掛ける内容。東日本大震災や宮城豪雨時の対応などに生かされた。15年の宣言は震災経験を基に作成した。強い揺れへの恐怖や不安、家族と再会できた安堵の思いを振り返り、自助、共助とともに周りの人と助け合う「近助」が重要と指摘。「どんなに

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

岩切・女性たちの防災宣言2015

私たちは忘れない
2011・3・11 14時46分
止まらない揺れ。岩切大橋の段差が広がる。割れた道路からあふれ出す水。消えたままの信号、倒れ掛かる電柱。聞いたことのない音とともに瓦が落ち、壁が崩れていく。

左右違うクツで「子どもは…」と、外に出る母。崩れた街並みと、たかさんの声に守られながら子どもたちは帰って来た。抱きしめながら涙が止まらない。「怖かったね。がんばったね。ありがとう。帰って来てくれて、ありがとう。」夜・・・真っ暗な地上と凍りつくような満天の星と月。

夜明け
いつも声をかけあっているご近所さん、仲間たち、思い浮かぶあの人の、この人を捜し、今、この時に何が出来るかを確かめるために、助けあった命を未来につなぐために、踏み出した一歩。

ともに歩いていく
子どもたちは笑っていてくれるだけで宝。中学生たちは力を合わせて仕事をしてくれた。何をせざらぬと動かし出した人。

子どもがいて何もできないと思っていたけど、ちいさなサポートができた。自分や家族を支える「自助」、各々がそれができた。それは「共助」。気になって人の家にちよとご飯を差し入れてみた、それも「共助」。誰もが誰かのためにできることをした。みんなで一緒に乗り越えたことを、私たちは互いに分かっている。

経験したからこそ伝えよう。「自助」、周りの人と助け合う「近助」は大事。備蓄は一週間。でも、大変な時は「助けたい」と声を上げて。私たちはあなたを見つめます。

知らなくちゃいけないことが、知りたいこと。もっともっとあることに気づいたから、学び、動く。どんなに大地震が揺さぶられても、心はしなやかに立ち上がる。

私たちは再び呼びかける。昔から住む人、新しくこの町に住む人、世代を超えてつながろう。安心して毎日を過ごせるように。お互いの命を守るように。岩切に住んでよかったとみんなが思えるように。

大切な人は誰ですか？
ともに歩こう。あなたと。未来を創るあなたとともに私たちは歩き続けます。

2015年3月
岩切の女性たちによる防災宣言をつくる会

軟らかい雰囲気助け合いの大切さを訴える「岩切・女性たちの防災宣言2015」

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。

東北大学国際研究所教授 佐藤 健さん

仙台市宮城野区岩切地区 指定避難所の岩切小と市と利府町に接する。自然豊かな住宅地に約7500世帯、約1万8000人が住む。東西を七北田川が貫き、市のハザードマップによると、氾濫時は地区の大半が浸水する恐れがある。

【参加して】岩切は女性防災活動をリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【災害に備えて】平時の防災活動がリードしてきたが、「男として負けたくない」「サポートしたい」と思い、地区では男性初の地域防災リーダーになった。女性の強みはネットワーク。自分も顔の見える関係を広げ、災害への備えを新たにしたい。仙台市地域防災リーダー・伊藤松本さん(65)

【女性と防災】防災に女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。女性がかこれだけ積極的に関わっている地域はあまりない。